

# ライフキャリア通信

本校HP QRコード

静岡県立中央特別支援学校  
第2号  
令和4年12月23日発行





ライフキャリア通信では、進路選択や進路決定の一助となることと共に、卒業後の「豊かな生活」をめざして日々の生活や学びがより一層充実するような情報を発信していきたいと思っております。その一つとして、今年度は高等部の現場実習の様子をお伝えしていきます。今回は高等部2年生です。また、裏面にて各学部より進路に関する情報を掲載しております。そちらも併せて御覧ください。なお、他学部のライフキャリア通信は本校ホームページより閲覧できるようになっています。

## 高等部2年生 現場実習「チャレンジ・力をたくわえる」



1年生で初めて経験した現場実習。2年生では、その経験を基にして、違う職種や雇用形態を選択して現場実習を行い自己評価や他者評価を踏まえ振り返ります。そして進路先を広げたり、絞り込みしたりしていきます。

自分の得意なこと不得意なことなどの自己認識を深めたり、社会人としての知識や態度、技能に気づいたりすることで、卒業後の生活のイメージを少しずつ具体的にしていきます。

現場実習を終えた生徒の事後学習でまとめた報告書の1部を紹介します。

<p>じっしゅうさき ◎実習先: <b>ぴいーす</b> きかん ◎期間: 3日間</p> 	<p>◎活動の様子</p> 	<p>せい ◎成果 ○活動場所によって活動する場とリラックスする場を自分なりに切り替えることができた。 ○表情で気持ちを伝えることができた。</p>	<p>◎これからがんばること ・今後も継続して、生活リズムを安定させる。 ・大きな口の動きで返事やあいさつをする。</p>
--	--	--	---

<p>じっしゅうさき ◎実習先: <b>ライラックの園</b> きかん ◎期間: 3日間</p> 	<p>◎活動の様子</p> 	<p>せい かだい ◎成果と課題 ○いつもと違う環境で、みんなと一緒に活動することができた。 ○みんなと一緒にポッチャや外活動に参加することができた。</p>	<p>◎これからがんばること ・どこでも、だれとでも、一緒に活動できる。</p> 
--	---	---	--

<p>じっしゅうさき ◎実習先: <b>アトリエ いろは</b> ◎期間: 4日間</p> 	<p>◎作業の様子</p> 	<p>せい かだい ◎成果と課題 ○職員さんや利用者さんとコミュニケーションをとれた ○集中して作業に取り組むこと ・これから好きなことを増やしていく。 ・良いところをさらに伸ばしていく。</p>	<p>◎これからがんばること ・タオルをたたむこと ・ふくをたたむこと ・きがえやしたくを自分でする。</p>
---	---	--	---

<p>◎実習先: <b>それいゆ</b> ◎期間: 8日間</p> 	<p>◎作業の様子</p> 	<p>◎成果と課題 ○トイレの依頼は丁寧な言葉遣いができた ○両手を使って作業に取り組めた ○職員さんや利用者さんとコミュニケーションをとれた △集中して作業に取り組むこと</p>	<p>◎これからがんばること ・「はい」と返事をする ・作業を正確にする</p>
--	---	--	--

新型コロナの影響により年明けの3学期に現場実習を経験する生徒もいます。実習後に成果と課題を整理して、必要に応じて今後の目標を設定します。そして、高等部3年生の6月の現場実習に向けて、進路の方向性を本人、家族、学校とともに確認していきます。

本人や家族が、卒業後にどのような生活（はたらくこと、くらすこと、たのしむこと）を送りたいか、連携できる関係機関はどのようなところがあるかを具体的にしておくことが大切です。

表面にて高等部2年生の実習の様子を紹介しました。高等部2年生の実習を終えると、次は3年生での実習です。3年生の実習は「決めの実習」と表現することもあるように、卒業後の進路先を決めていくための実習となります。「決めの実習」に臨んでいくと、卒業後の生活について考える機会が増えます。

卒業後の生活拠点として「自宅」を選択する方が多いと思われませんが、自宅以外にも選択肢があります。例えば、「一人暮らし」や「グループホーム」、「入所施設」等です。今回はその中で「グループホーム」に関する情報を提供します。

**障害者グループホームとは…**障害者の支援をする障害者福祉サービス「**共同生活援助**」のことです。

食事や掃除、入浴など日常生活を送るうえで必要なことのサポートを受けながら、地域の中にある共同生活住宅で暮らし、自立を目指します。

**障害者グループホームは主に3種類**

**【介護サービス包括型】**

- ・夜間や休日に介護を必要とする方向け。サービス内容は食事、入浴、排せつなどに伴う介護。

**【日中活動サービス支援型】**

- ・短期入所施設を併設、もしくは24時間支援体制で、日中の活動もサポート。介護のほか、日常生活の支援も受けられ、相談にも乗ってもらえる。重度の身体障害者も利用できる可能性がある。

**【外部サービス利用型】**

- ・サービス内容は夜間や休日の相談対応や家事など日常生活上の支援。入浴等の介護は事業所が委託している介護事業者から受けられる。利用者は障害の程度が軽い人が多い。

グループホームの基本料金は障害年金の支給額と同等の6～8万円前後に設定されている場合が多いです。自治体によっては1万円程度の補助が出ます。諸々の諸経費を鑑みるとグループホームでの生活には月10万円程度が必要とされています。通所先や通勤先との兼ね合いや、環境面、その他の条件面等で本人にとってよりよいグループホーム選びが重要となります。

**【新規事業所情報】**

就労継続支援B型事業所—フタリエ—

住所：静岡市葵区沓谷 6-9-2

開所日時：平日10:00～16:00

対象者：身体、知的、精神、発達、その他応相談 ※車椅子受け入れ可 ※週1利用可

送迎：あり

作業：【焼いも販売・加工・ラベリング】

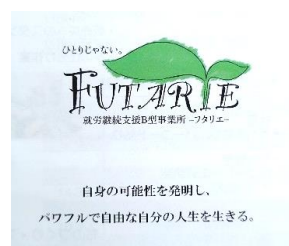
店舗販売業務、干し芋製造、冷凍芋や干し芋の真空パック、ラベル貼り、販売袋へのスタンプ押し、チラシ折り、芋の仕分け作業

【せどり外注・その他請負作業】

検品、ラベル貼り、バーコード貼り、梱包、在庫管理、粉コーヒーの個包装、チラシ折り

【ものづくり・アートワーク】

流木を使ったハンドメイド、簡単なPC作業



# きらり☆みらいへ ～小学部の進路学習～

◎本校職員向けに社会福祉法人明光會・さつきの就業支援担当者を招いて研修会を行いました。  
 研修で取り上げた小学部段階で身に付けたい力について、職業準備性ピラミッドを使って紹介します。

並列作業能力・作業速度、質、正確度・自己理解等 etc	<b>職業適性</b>	適正があると “仕事能力が評価される”
ビジネスマナー 報道相・規則の順守	<b>基本的労働習慣</b>	基本的労働習慣ができていると “会社の一員として信頼される”
職場の人間関係 協調性・困った時の逃げ道	<b>対人スキル</b>	対人スキルができていると “職場で円滑に働ける”
規則正しい生活 変化への対応	<b>日常生活管理</b>	日常生活管理ができていると “安定した力を発揮して働ける”
<b>小学部段階で身に付けたい力</b>		
体の健康・心の健康 障害への理解・服薬	<b>健康管理</b>	健康管理ができていると “社会で働ける身体になる”

健康管理では、集中力、持久力、体力の向上や自分の平熱を知る、不調の理由を具体的に伝える、トイレの自立なども含まれます。

日常生活管理では、早い段階から多くの経験を積んでおくことが良いと考えられます。例えば、自力通勤するためには、IC カードや手帳の使い方、ATM での給料の引き出し方なども含まれます。

対人スキルでは、支援を待つよりも自分から助けが欲しいと言えること、「ありがとう。」「すみません。」と言えることが大切となります。

◎10月26日小学部進路懇談会に参加していただいた保護者の皆さまありがとうございました。次年度に向けて進路指導課としてリモートで直接やりとりできる機会を増やしていきたいと考えています。ご協力をお願いします。進路懇談会で質問がありましたので返答を載せさせていただきます。

**Q. 生活介護の受け入れ先ですが、毎年違う事業所名で昨年受け入れたら今年は受け入れられないなど、他の学校との調整などがあるのでしょうか？単なる空きなど人数の問題なのでしょうか？**

- A. 他校との調整等で昨年受け入れたから今年は受け入れができないということはありません。ただし、事業所ごとの利用定員がありますので、空き状況によっては受け入れができないケースはあります。
- また、中央の生徒と他校の生徒で同じ事業所に利用希望が重なり、空き状況が1枠といった場合も考えられます。その場合はそれぞれの生徒がその事業所で実習をさせていただき、事業所の評価によって利用の可否を判断していただきます。
- 毎年受け入れ先が違うのは、定員の影響よりも各生徒・各家庭の進路希望の違いによるところが大きいです。高等部卒業後の進路先を決める段階になると進路希望の内容も個々に応じて細かく枝分かれしていきます。結果として進路先も様々になりますので、毎年同じ事業所の利用に至ることは少なくなります。「生活介護事業所」と一言で言ってもそれぞれ特徴や理念、利用対象等が異なりますので、どこのどんな生活介護事業所に通いたいのかということがとても大切です。

## 中学部 ☆望む未来へつながる一歩☆

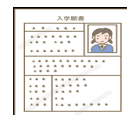
3年生の受検準備が始まりました。例年、大半の生徒が本校の高等部への進学を希望しています。今年の3年生も、2月9日の入試選考に向けて、出願書類の作成に取り掛かっています。1月には面接練習が始まり、挨拶や身だしなみは毎日練習します。特に、挨拶は人と気持ちよく関わる上で欠かせません。相手を見たり笑顔を向けたり等、自分のやり方を身につけておくことが大切です。家族以外の人とも関わることは、将来の豊かな生活につながる第一歩です。自身のない人は「今すぐ」から、できている人は「誰とでも」「周囲や相手の状況を見て」できるようにステップアップを目指すことが望ましいです。

志望理由は？

×「同じ学校、慣れた場所で安心だから」「友達がいるから」



○ 将来の生活を考えて、どんな高校生活を送りたいか、何を身につけたいか



## 将来の豊かな生活は人それぞれ 自分が望む未来にある

進路指導では「はたらくこと」「くらすこと」「たのしむこと」の3つを大切にしています。例えば、「たのしむこと（余暇）」にスポットを当ててみましょう。

お子さんの好きなこと得意なことはいくつ挙げられますか？

僕は何が好き？  
何が得意？

私はどんな生活がしたい？



好きや得意は、様々な体験・経験を重ねる中で増えていきます。放課後等デイサービスやショートステイなどのサービスを利用、近所や公共の場所に出掛けること、食事や買い物をするなど学校以外に活動する場所はたくさんあります。好きや得意が増えることは、日中の活動（はたらくこと）や生活（くらすこと）を豊かにします。これからも学校と家庭でたくさんの経験や体験の機会を作り、好きや得意を増やしていきましょう。そして、おこさんが望む自分に合った進路について、一緒に考えていきましょう。